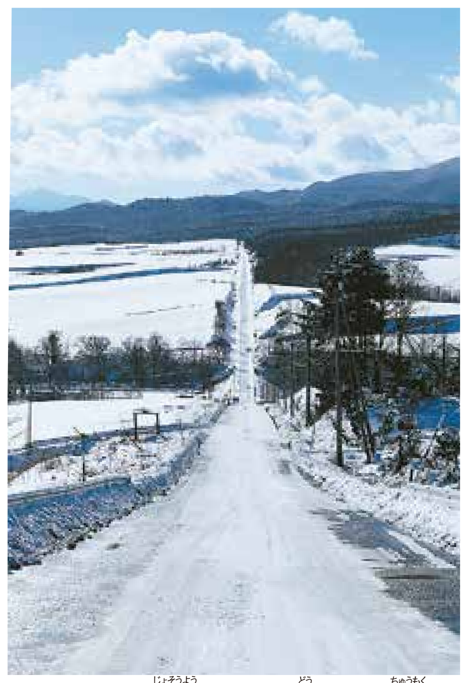
道内各地で準備進む 捜索いよいよ大詰め

サンタ発見へ向け全力

クリスマスまであと１週間――。サンタ捜索の大詰めを迎えたどうしんサンタ捜索チームは、捜索本部のある札幌をはじめ北海道内各地でさまざまな動きを見せている。同チームは16日、北海道新聞本社ビルで、これまでの活動の途中経過を発表する「中間報告会」を開催した。



「トナカイの助走用」として、同チームが注目するジェットコースターの路＝上川管内・上富良野町

捜索チーム

中間報告を発表

当日に向け最終調整

「サンタ捜索チームにとって今年は歴史的な年になるだろう」。会見でこう話すのは、特捜班「S・A・N・T・A」の三田育三本部長。その言葉からは、自信と覚悟が見える。

今年11月上旬に再始動したサンタ捜索チームは、これまで着実に歩みを重ねてきた。11月下旬に道東・釧路市内の観光名所や大型書店の捜索からスタートすると、その動きは全道各地へと波及。これまでは札幌・道東が中心の捜索体制だったが、各地から目撃情報が寄せられたことから体制を一新。今年から新たに苫小牧、函館、小樽、帯広、旭川、室蘭、北見と札幌本部の道内7カ所に支部を設け、捜査員を各地に派遣しながら捜査網を拡大してきた。同チームでは、引き続き活動を続け、道内の目撃情報や、サンタの痕跡を全力で捜索する狙いだ。

会見では、現在までの捜索状況や全体の動きを公表。先月23日には大丸札幌店（札幌市中央区）で、サンタが下見に来ていると推測されるような痕跡も発見されていることから、同チームとしては例年より早い動きをとった。

今年開発されたトナカイの疑似声でサンタを呼び寄せる「サンタ誘引システム」は、本部のある道新本社ビルや釧路市幣舞橋付近に設置し試運転を行っているという。また「トナカイレーダー」は、開発者・アダムスキー博士指導のもと、全道各地に設置。ソリを引くトナカイが助走に使う可能性があるとして、上富良野町にあるアップダウンの激しい道路、「ジェットコースターの路」にも設置されるという。同様にサンタの姿を捉える「ライブカメラ」は、今年新たに旭川市・買物公園付近のほか函館市・八幡坂などに設置予定。また、トナカイが仲間に会うために訪れることを想定し、釧路市動物園にもカメラの設置を検討している。また、昨年より精度を2倍高めた「集音マイク」も北見、帯広などに配置される。捜索チームが期待を寄せていた「サンタ追跡用人工衛星」は、整備に時間がかかり、今年の打ち上げが見送りとなった。

さらに道南・大沼国定公園やJR札幌駅周辺をはじめ各地で大規模な捜索訓練も実施。多くの捜査員が知恵と体力を使い、本番さながらの捜索を行った。

「捜索には確かな手応えを感じている。今年はサンタが数回下見に来ていることから、クリスマス当日には来ないと心配する声もあるが大丈夫。良い子のところには必ずサンタは来る。そんなみんなのために、何としても今年の聖夜はサンタを発見しなければ」と話す三田本部長。その眼差しは一週間後の聖夜に向けられていた。

「ライブカメラ」の設置が検討されている釧路市動物園のトナカイ舎＝釧路市阿寒町

大丸札幌店

伝言板を確認か

「OK」はサンタの筆跡？

「OK」と書かれた文字が発見された大丸札幌店１階に設置中のメッセージボックス

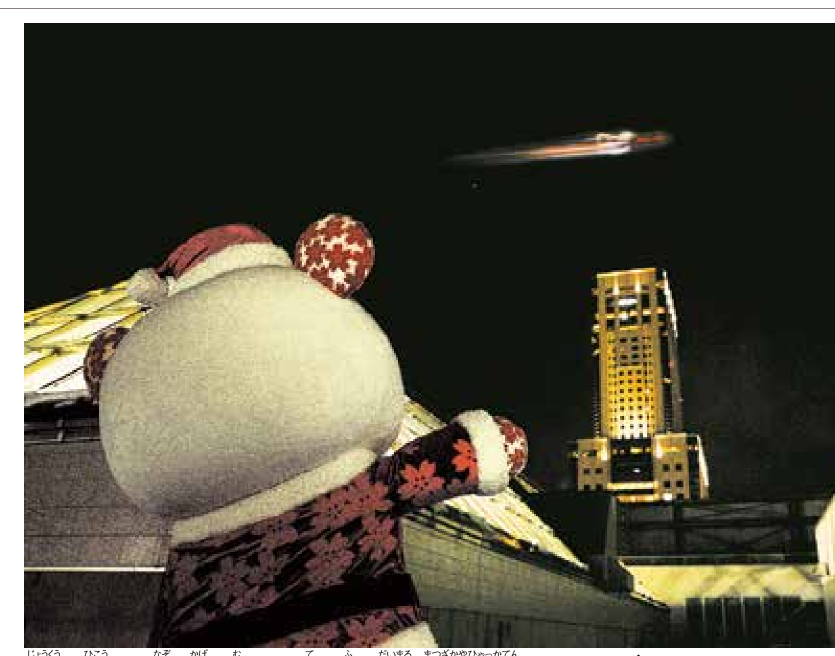
大丸札幌店1階に特設されている、今年一年行った「いいこと」をサンタに知らせるメッセージボックスコーナー。連日多くの人が「いいこと」を書いて投函する、そのボックスのそばで「OK」と書かれた文字が、16日深夜に発見された。第一発見者は、巡回中の警備員。同店では先月23日からサンタ目撃情報が相次いでいたため、厳重警戒体制がしかれていたが、前日までこのような文字はなかったことから「サンタが再度下見に来たのではないか」と捜索チームは推測している。

この発見の一報を受け、メッセージボックスを担当する同店の販売促進担当・三上克治さんは「こんな短い期間に、再びサンタさんが当店を訪れてくれたとしたら、非常に光栄なこと。きっと、皆さんから集められた『イイコト』の内容がすてきだから、サンタさんがチェックしに来てくれたのでは。『OK』というのは、みんなのメッセージを見たよ、お願いごとも分かったよ!という意味だと思います」と興奮を隠せない様子。「このサンタさんが残したと思われる『OK』メッセージは、クリスマス当日まで店内のメッセージボックスそばにそのまま残します。皆さんも、ぜひ見に来ていただきメッセージを書いてもらえたら」とうれしそうに語った。

どうしん夢プロジェクト　広告企画

パンダクロース サンタと密会？

捜索チームが 事情聴取



上空を飛行する謎の影に向かって手を振る大丸松坂屋百貨店の人気キャラクター「パンダクロース」（ライブカメラ映像の一部抜粋）

サンタ捜索チーム特捜班「S・A・N・T・A」に加入した、大丸松坂屋百貨店の公式キャラクター「パンダクロース」に、サンタと密会していたのでは?という疑惑が持ち上がっている。

この騒動は、14日の大丸札幌店の閉店後、同店屋上から謎の影に向かって手を振るパンダクロースの姿を、設置されたライブカメラが捉えたことから始まった。この映像を不審に思った捜索チームが、専門機関に画像鑑定を依頼。その結果、謎の影がサンタである可能性が高まったため、同チームは事実の公開に踏み切った。

映像に映っているのは、パンダクロースが謎の影に向かって手を振るシーンのみだが、サンタとパンダクロースが密会した後、サンタの去り際を見送っていたのではないかと推測され、疑いが深まっている。なお、このライブカメラは、サンタ捜索を目的に大丸札幌店の協力のもと今年から設置されたものだった。

テキスト

記憶喪失か

あいまいな供述

この事件について、特捜班は「パンダクロースとサンタはライブカメラの位置をあらかじめ把握し、映らない場所で密会していた」という見解を発表。事件後、特捜班がパンダクロースへの事情聴取を行うも、いつもの愛くるしい動きで「分からないまつぅ～」「覚えていないまつぅ～」という供述を繰り返すばかりで、真相は謎のままという。現在、パンダクロースとして多くの活動も行っていることから取り調べは一時中断しているが、特捜班では、パンダクロースの記憶の回復を待って再度事情聴取を実施する見込みだ。

パンダクロースはサンタとのつながりも深いことから特例で特捜班「S・A・N・T・A」への加入が認められ、捜索の切り札として活躍が期待されていた。それだけに、今回の騒動によってチーム全体に動揺が広がっている。特捜班の三田本部長は「密会していたのが事実だとすれば、やはりパンダクロースはサンタと極めて近い関係にある。世間をお騒がせしてしまったのは遺憾だが、サンタの正体に近づいたともいえる。ぜひ決定的な証拠をつかみたい」と神妙な面持ちで語った。

上記写真をARアプリで読み込もう!
サンタ捜索ムービー公開中。

「密会疑惑」映像を公開

アプリで写真を撮影して映像をチェック

今回、大丸札幌店で起こった「パンダクロースとサンタの密会疑惑」の映像を、捜索チームから入手。スマートフォンやタブレット（Android,iOS）で映像を見ることができます。

【ARのご利用方法】
①App StoreまたはGoogle playで無料アプリ「layar」（レイヤー）＝写真＝を検索し、インストールします。
②スマートフォン画面にlayarのアプリが出たら、それをタップして（軽くたたいて）起動します。
③上記の写真にかざし、写真が見えたら画面をタップします。
④写真が動き出します。見ている間は写真にかざし続けてください。
※鑑賞は無料ですが、通信費はスマートフォン契約者の負担となります。機種、通信回線の状況によってはスムーズに上映されなかったり、ご覧いただけないことがあります。鑑賞できるのは2014年1月16日までです。
layarはAR（拡張現実）技術を応用したアプリで、運用にはシステム・ケイ社（札幌）のご協力を得ました。
layarの詳しい使い方は、同社の紹介HP（http://www.layar.jp/）をご覧ください。

サンタ川柳

届くかなサンタさんへのラブレター　札幌・仲 良子

企画制作／北海道新聞社広告局

この広告企画はお子さまと楽しんでいただくため、夢のある構成となっています。フィクションを多く含みますがご理解、ご了承願います。
次回は12月下旬朝刊予定

（C）北海道新聞社 無断転載、複製及び頒布は禁止します。